

平成29年度の主な事業 予算の主な使い道(歳出)を紹介します。

I. 活力あるまちづくり [10,925千円]

- ・100歳まで働ける「BABAラボ岐阜池田」創出事業** [3,600千円] (地方創生)

昨年度、企業・団体を対象にアイデアコンペを実施し、選定されたラッキー工業(株)の提案事業をサポートする。雇用の場(孫育てグッズを製作する「BABAラボ岐阜池田」)を創出したなかで、単なる雇用の場にとどまらず、お年寄りが生きがいをもって活躍し、地域の人と繋がる場、子育て支援、学びの場づくりを進める。
- ・Uターン・イターン支援事業** [2,500千円]

子育て世代の移住・定住を増やし、併せて町内にある空き家の縮減を図るため、空き家バンク登録の家屋を取得し、改修を行う費用の一部を助成するほか、固定資産税の免除を行う。宮地地区においては、空き家だけでなく新築による居住であっても固定資産税の免除を行う。
- ・移住定住促進事業** [1,335千円] (地方創生)

町内への移住を推進するため、日帰りツアーを企画、開催する。また空き家バンクを運用していくために、バンク登録候補となる家屋を調査し、図面などの詳細な情報を把握してバンク登録を行う。さらに、東京などにおいて開催される移住促進関連イベントに出席し、PRを行う。
- ・町民と役場をつなぐ「まちづくり工房」プロジェクト** [2,223千円] (地方創生)

まちづくりを実施するトータルコーディネーターを確保・育成するとともに、養老鉄道池野駅の駅舎を活用し、まちづくり拠点「まちづくり工房(露沢舎)」を整備した。まちづくり工房には、トータルコーディネーターの事務局、まちづくり活動団体が集えるコミュニティスペースを設け、指定管理者制度を導入し、効果的かつ効率的な管理運営の推進および自立する仕組みづくりを進める。指定管理者(トータルコーディネーター)は、まちづくり工房の運営管理・利用促進、まちづくり事業、地域振興事業、移住定住促進事業、レンタサイクル運営事業などに関して推進する。
- ・町の人財を活かした地域コミュニティの活性化事業** [727千円] (地方創生)

池田町内のいろいろな技術、能力を持った達人を発掘し、その方々から学び体験するプログラム・講座を開催することで学校・職場・自治会以外の人とつながる機会をつくり、多世代間交流が行えるようにする。
- ・若者コミュニティの活性化事業** [540千円] (地方創生)

町役場職員・町民メンバーで「同窓会応援実行委員会」を運営し、若者が気軽に集まれる同窓会・イベントの開催を支援し、コミュニティの活性化を図るとともに異性と話す機会や結婚を考える機会をつくることで結婚へつながるようにサポートする。

II. 観光関連事業 [37,815千円]

- ・山麓修景整備事業** [23,000千円]

四季を楽しむように霞間ヶ溪に花畑を整備し、山麓の自然と眺望を活かした環境を整える。
- ・霞間ヶ溪公園トイレ改修工事** [12,000千円]

霞間ヶ溪公園利用者の利便性を上げるために、トイレ改修を行う。
- ・池田・揖斐川レンタサイクル推進協議会負担金** [738千円] (地方創生)

揖斐川町と設立したレンタサイクル推進協議会において、レンタサイクルの運営、ナビアプリの提供、PRイベントの開催を継続するための事業費負担を行う。
- ・また、養老鉄道は、「サイクルトレイン」として、人と自転車が一緒に乗降できるという特徴を活かし、鉄道と自転車を利用しながら沿線市町の観光スポットを周遊する仕組みをつくり、観光客増を目指す。**
- ・町マスコットキャラクター「ちゃちゃまる」事業** [737千円]

住民に周知されてきた町のマスコットキャラクター「ちゃちゃまる」を活用し、更なる池田町のPRを行う。また11月に三重県桑名市で行われる「ゆるキャラグランプリ」にエントリーし、広く全国にもPRを行う。
- ・池田まるっと体験交流ツアー創出プロジェクト** [692千円] (地方創生)

池田山麓付近を中心とした自転車などで巡る体験・交流ツアーを設定し募集していく。
- ・町民による池田の魅力発信事業** [648千円] (地方創生)

池田町民に編集委員会・町民特派員の募集を行い、池田町の情報冊子を編集、作成してもらい、町民自身が池田町の魅力や良さに改めて気づく再発見を図る。

III. 教育関連事業 [288,562千円]

- ・(仮称)池田町大野町学校給食センター施設整備事業** [137,006千円]

(仮称)池田町大野町学校給食センターの9月運用開始を目指し、施設で使用する調理用備品、施設用備品並びに給食配達車5台を購入し、8月下旬に総合試運転を実施する。
- ・池田町大野町学校給食センター協議会運営費** [90,475千円]

新しく設置された池田町大野町学校給食センター協議会へ負担金を支出し、池田町および大野町内で給食事業を行う。
- ・特別支援教育支援事業** [22,291千円]

学習や学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に対して、指導助手として、特別支援学級に支援員、通常学級にアシスタントを町独自で配置し、誰もが安心して学べる環境を整える。

支援員 配置校:温知小5人、八幡小1人、池田小1人、池田中1人
アシスタント 配置校:温知小3人、八幡小2人、宮地小3人、池田小2人
特別教育支援アドバイザー:1人

・外国語活動推進事業 [15,190千円]

ALT (Assistant Language Teacher) のほか、町独自に講師を4人配置し、小中学校における英語授業の充実を図る。

・少人数学級指導支援事業 [9,388千円]

一定数以上(30人以上)の学級を対象に、町単独で講師を配置し、学習集団を1学級増やして、よりきめ細やかな少人数指導を行う。対象校:温知小4人、八幡小4人

・池田町版体験キャリア教育の深化プロジェクト [5,912千円] (地方創生)

キャリア教育コーディネーター2人が、池田町の教育について現場教師とともに新たな職場体験のあり方や企業展について考え、子ども達が地元でいきいきと働く大人に触れる仕組みを作り、地元を知る喜びや町への愛着を育むことを目指す。また、未来の池田町をにう中学生と池田高校生に対して英検や漢検などの資格取得に対して助成を行うことで学生の社会で活躍する土台形成を図る。

・バドミントン日本リーグ池田大会事業費 [5,400千円]

バドミントン日本リーグ池田大会を開催し、日本1部リーグに所属するチームを招聘し、一流選手の競技に身近に触れてもらうことで競技人口の拡大、競技力の向上につなげる。

・海外派遣事業 [2,900千円]

中高連携した外国語活動の一環として中学生10人、高校生5人をニュージーランドへ派遣し、ホームステイや福祉施設訪問を行い、グローバルな人材を育てる。

IV. 生活基盤関連事業 [354,360千円]

・養老鉄道存続支援事業 [68,858千円]

沿線市町と協議し、養老鉄道存続に向け補助金の交付や利用促進を図る。また、新たに設置される養老線管理機構に補助金の交付を行う。

・コミュニティバス運行事業 [19,956千円]

町内の安全な住民移動手段確保のため、巡回線、北回り線、南回り線、役場～市橋線を運行する。

・福祉医療扶助事業 [118,755千円]

子どもの医療費を無料化にすることで、子どもを持つ世帯は平等に医者にかかることができ、子どもの病気の重篤化を防ぐことができる。

	対象(人)	予算額(千円)
乳幼児扶助	1,127	46,255
児童・生徒扶助	2,132	53,135
高校生等扶助	777	19,365

・病児・病後児保育事業 [6,570千円]

子どもが病気にも関わらず、仕事や冠婚葬祭などにより家庭で看護ができない保護者に代わり、一時的に「病児・病後児保育施設(ひまわり)」において児童を預かる。なお、3人以上子どもがいる世帯の利用は無料としている。対象人員:115人

・放課後児童クラブ事業 [23,959千円]

仕事などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育で、対象を小学校6年生までとする。利用予定者数:119人

・防災拠点整備事業 [11,679千円]

地域の防災拠点に防災備蓄倉庫、備蓄用非常食・保存水・防災備品(バックホブ・仮設トイレ)整備を行う。

・緊急通報装置設置事業 [785千円]

75歳以上の独居高齢者などに使用している緊急通報装置を設置する。

・町有施設LED照明修繕事業 [5,640千円]

町有施設灯の老朽化、マイマイガ対策としてLED照明に切り替え、および池田町有線放送の廃業に伴う電柱の建替を行う。

・自治会防犯灯LED照明切替事業 [2,678千円]

自治会所有の防犯灯の老朽化、マイマイガ対策としてLED照明の切替に対し補助する。(平成29年度までの整備について、補助率を3/10から7/10に拡充)

・(仮称)池田町南部リサイクルセンター建設事業 [6,480千円]

(仮称)池田町南部リサイクルセンターの実施設計を行う。

・社会資本整備総合交付金事業 地域基盤整備工事 [37,500千円]

池野杉野線・道路整備	15,000千円
舟子1号線・小寺池野線・舗装修繕	16,500千円
橋梁修繕	6,000千円

・道路改良工事 [21,000千円]

いこいの森	栄町地内	7,000千円
下東野10号線	下東野地内	3,000千円
下八幡30号線	下八幡地内	1,500千円
六之井46号線	六之井地内	1,500千円
片山北3号線	片山北地内	3,000千円
萩原36号線	萩原地内	5,000千円

・都市再生整備計画事業(願成寺地内) [18,000千円]

舟子1号線の危険箇所を改修し、交通の安全を図る。L=240m、W=6.5m

・橋梁維持修繕 [12,500千円]

道路法施行令の改正に基づき橋梁点検を行い、橋梁塗装5橋、自主点検を51橋行う。